

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	地域活力創造プロジェクト	実施期間	平成27年度	テーマ	(1) 少子高齢化 (4) 地方創生	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市の人口は昭和25年の54,055人をピークに減少が続いており、少子高齢化や若者の人口流出、後継者や担い手不足により、コミュニティ機能の衰退による地域社会全体の活力の減退など、幅広い分野に影響を及ぼしている。</p> <p>定住促進は本市の喫緊の課題であり、平成26年4月1日から、府内では初の「住みたくなるまち定住促進条例」を制定し、総合的な定住促進対策を講じて、市外からの移住を促すとともに、子どもから高齢者までの誰もが「住みたくなる」、「住み続けたくなる」住みやすいまち、一度市外へ出た人が「帰りたくなる」ような魅力あるまちを目指している。</p> <p>地域コミュニティの維持、存続に対する将来への危機感から市が取り組んでいる定住促進への理解が深まる地域も出てきている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>人口の大半が都市部に集中する中、国の地方創生の政策実施により、都市部の住民や企業が地方へ移動するよう誘導されつつある。本市としては、以前より、田舎暮らしに興味を持つ方々に、本市への関心を一人でも多く持っていただくため、様々な施策を展開している。</p> <p>市外から移住をさらに推進するため、移住してもらうための施策、観光関連の魅力向上施策、市内外に幅広くPRするための情報発信施策等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■あやべ移住誘導事業費 子育て世代等を中心に市外からの移住者を増やすため、都市計画の見直しにより土地利用を誘導するとともに、空き家活用の推進を図るため、移住希望者にかかる空き家改修を支援し、既存のコミュニティの活性化を図った。 ■訪れたくなるあやべ観光創出事業費 あやべを知ってもらう、訪れてもらう仕掛けとして、森の京都の拠点施設である里山交流研修センターやあやべ山の家の施設充実、良質の泉質を誇るあやべ温泉や足利尊氏公生誕の地といわれる安国寺等の観光施設の充実を図った。合わせて、観光イベントの支援により誘客の促進を図った。 ■あやべの魅力発信事業費 マスコットキャラクターまゆピーの活用やホームページを通じた情報発信により、あやべの認知度向上を図った。 						
	総事業費（千円）	29,136	本年度事業費（千円）	29,136	交付金額（千円）	10,476	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	あやべ移住誘導事業費	交付対象事業	地域コミュニティの活力が持続的に発揮できるまちづくりを実現するため、あやべへの移住を積極的に誘導		定住者が行う空き家改修に補助（市街地）：2件		
	訪れたくなるあやべ観光創出事業費	交付対象事業	主要な観光施設の施設充実及び観光事業を支援することで、あやべを訪れてもらうきっかけとするとともに、リピーターを増やす		あやべ温泉揚水ポンプ取替、安国寺公衆トイレ水洗化		
	あやべの魅力発信事業費	交付対象事業	マスコットキャラクターまゆピーの活用やホームページ等あらゆる媒体を駆使して、綾部の魅力を発信		まゆピーぬいぐるみ製作：100体		
	あやべ特別市民制度運営事業費	交付対象事業	あやべ特別市民制度の充実を図り、応援者を拡大		あやべ特別市民数：2,156人		
	地方創生人材支援制度活用事業費	交付対象事業	人口ビジョン、総合戦略策定等を支援する地方創生人材の活用		国の地方創生人材支援制度を活用し、民間人材を登用：1人		
	ふるさと就職支援情報発信事業費	関連事業	情報提供希望者に対し、各種就職情報を市政情報とともに提供		述べ提供者数：1,034人、提供回数：12回		
	世界連邦日本大会開催事業費	交付対象事業	世界連邦都市宣言65周年を記念し、日本大会を本市で開催		第32回世界連邦日本大会を開催し、平和のメッセージを市内外に発信		
	水源の里活性化事業費	交付対象事業	水源の里における定住・交流促進等の集落再生に向けた取組		水源の里定住支援給付金：2世帯、水源の里活性化補助金：14件		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

住民協働事業	文化の仕掛け事業費	交付対象事業	工芸に特化した文化・芸術の振興による交流事業	文化・芸術活動の促進事業に補助:1団体	
	空き家活用チャレンジジョブ支援事業費	交付対象事業	起業支援と商店街活性化を図るため、新規商業者に対する補助	補助件数:6件	
	地域特産物販売・開発事業費	交付対象事業	新たな地域特産物の開発、農産物の販売、農業後継者の育成	農産物を使った地域特産品の開発や販売業務を実施	
	UIターン者定住支援住宅整備事業費	関連事業	空き家を活用し、若い子育て世代の定住促進を支援	整備戸数:3戸	
	空家活用定住支援事業費（市街地以外）	関連事業	空き家改修等に要する費用を支援し、定住促進を推進	補助件数:15件（市街地以外）	
成果指標①	成果指標の目標数値	ホームページトップページへのアクセス件数 H25: 359,000件 → H27: 420,000件		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	410,878件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値には達しなかったが、H25の数値は上回っており、ホームページを活用し効果的な情報発信ができたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	定住支援サポート窓口登録者数 H26.4: 504人 → H28.4: 600人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	600人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	定住希望者に空き家の照会、就職・就農相談等の支援を行うとともに、空き家見学ツアーを実施し、本市への定住誘導に努めたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	定住支援サポート窓口による定住者数（年間） H27: 15世帯		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	19世帯
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	定住促進条例の制定や各種定住施策により、目標を上回る数の定住が実現したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	宿泊観光客数 H25: 61,095人 → H27: 65,000人		成果指標の実績値 (27年12月31日時点)	62,372人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値には達しなかったが、H25の数値は上回っており、各種ピーアールを通じて堅実に宿泊者数を増やしているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>ホームページなどのインターネット媒体やゆるキャラなどを活用した情報発信を行い、綾部市の魅力を知っていただくきっかけづくりに取り組んだ。また、水源の里の活性化など本市の魅力向上に努めた。このため、ホームページの閲覧者や定住者の増加につながった。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>UIターン者定住支援住宅整備事業や空家活用定住支援事業により、定住促進につながった。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>空家活用定住支援事業では、府と連携することで事業を推進し、定住人口の増加に結び付いた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>自治会への定住促進施策の説明や協力依頼を実施する中で、定住希望者の受け入れ等について理解が深まり、協力を得られるようになった。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>定住促進条例の制定、空き家活用定住支援事業等により、水源の里集落や農村地域等地域コミュニティの維持が危ぶまれる地域への定住支援を実施することで、定住促進につながるなど効果が現れている。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>水源の里対策は全国に広がっており、全国水源の里連絡協議会が組織されるなど、全国各地で水源の里活性化の活動が実施されている。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	災害に強く環境負荷の小さいまちづくり		実施期間	平成27年度	テーマ	(3) まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>近年、地球温暖化の影響により台風の大型化や全国各地で集中豪雨、土砂災害による被害が多発している。また、少子高齢化や若者の人口流出等により、地域の組織力がますます低下することが懸念される中、災害等に対する地域の組織力・防災力を高めることが喫緊の課題となっている。</p> <p>こうした状況に合わせ、市が実施する消防庁舎をはじめ避難所等の改修や土砂災害ハザードマップの作成・配布、消防団機能の充実、自主防災組織育成事業費補助金交付事業など自助・共助・公助の連携による災害に強いまちづくりを進め、市民の防災意識を高める必要がある。</p> <p>環境問題については、地球市民の一員として大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済行動から脱却し、温室効果ガスの削減やごみ減量化などの積極的な取組が求められている。これらに対応するため、リサイクル推進活動を展開するほか、リサイクルプラザの整備、自然エネルギーの活用など、市民とともに環境保全に配慮した行動を起こす必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>地域の安全・安心を推進するための事業に重点的に投資することとし、消防力・地域防災力の向上・強化を図るとともに、震災に備えた公共施設、避難所等の耐震化、施設改修を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■避難所等公共施設の耐震化、施設改修 消防庁舎、東八田公民館、林業センター等耐震補強及び施設改修等 ■地域の防災力の強化 地域の自主防災組織の活動強化と支援 ■災害対策の強化 内水対策整備事業、ハザードマップの作成、ため池の廃池、森林の適正管理等 ■消防組織の強化 救助資器材、消防団活性化等 ■災害に強いエネルギー社会の実現 住宅用太陽光発電システム設置促進 ■資源の有効活用 リサイクルの推進、リサイクルプラザの整備 							
	総事業費（千円）	165,974	本年度事業費（千円）	165,974	交付金額（千円）	25,031		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
	消防庁舎耐震事業費	交付対象事業	救急、防災の拠点である消防庁舎の耐震等改修			庁舎改修工事を実施		
	収容避難所施設整備事業費	交付対象事業	防災計画の避難所として指定している施設の改修			宮代コミュニティセンタートイレ改修、林業センタートイレ改修、東八田公民館耐震改修		
	内水対策整備事業費	交付対象事業	内水対策の計画策定及び樋門・都市下水路の修繕等			河川パトロール車整備：1台		
	土砂災害対策事業費	交付対象事業	土砂災害ハザードマップの作成			綾部地区・中筋地区の土砂災害ハザードマップを作成。4図画、8,000枚		
	廃池安全対策費	交付対象事業	消防水利の役割を終えた上藤山池の安全対策として廃池を実施			実施設計一式、整備工事一式		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

市町村 実施事業	救助資器材等整備事業費	交付対象事業	水難救助の体制整備のため、ドライスーツ一式を購入	ドライスーツ:2着	
	急傾斜地崩壊対策事業費	関連事業	急傾斜地の崩壊による災害から市民を守るため、安全対策を実施	京都府施行事業に対し一部負担:5件	
	消防車両整備事業費	関連事業	消防団の消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車等の更新	高規格救急自動車1台、小型動力ポンプ付積載車2台（普通車1台、軽自動車1台）、小型動力ポンプ積載車3台（普通車2台、軽自動車1台）、小型動力ポンプ1台	
	防災基盤整備事業費	関連事業	防火水槽及び消防ポンプ格納庫整備	防火水槽:1か所、消防ポンプ格納庫:1か所	
	防災行政デジタル無線屋外拡声子局整備事業費	関連事業	由良川沿線の防災情報が必要な地域に防災行政デジタル無線の屋外拡声子局を増設	屋外拡声子局:3か所、個別受信機:50か所	
	避難施設等緊急時電力確保事業費	関連事業	地域防災計画等に定める避難所である上林小学校・中学校の緊急時の電力確保	太陽光発電設備及び蓄電池設置	
住民 協働 事業	自主防災組織育成支援事業費	交付対象事業	自主防災組織の活動に対する補助	補助件数:13件	
	除雪機械設置補助事業費	交付対象事業	自治会が市道の除雪作業に必要な除雪機具の整備を行う場合に補助	補助件数:5件	
	住宅用太陽光発電システム設置補助事業費	交付対象事業	住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助	補助件数:43件	
	消防団活性化推進事業費	交付対象事業	消防団員被服ほか、災害時の消防団活動に必要な備品整備	救助用ボート:3艇、救命胴衣:554着、非常用ラジオ:66台、剣先スコップ:110丁	
	リサイクル施設整備事業費	交付対象事業	環境に配慮したリサイクルプラザ建設事業に係る経費	リサイクル施設の整備に向け、一般廃棄物処理基本計画等策定	
	リサイクル推進事業費	交付対象事業	分別等を行うリサイクル推進員の活動経費	リサイクル推進員を委嘱:442人	
	環境保全活動促進事業費	交付対象事業	環境を守る市民団体の活動を支援	環境保全活動を支援:2団体	
	森林環境保全事業費	交付対象事業	森林の適正管理による保水機能等の保全	間伐に対して補助:1団体、作業道等の伐開:22路線	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	救命講習受講者数 H25:9,998人 → H27:12,000人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	12,434人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	多くの方に救命活動の重要性、処置の手法等の知識を深めてもらえたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	消防団活性化事業、自主防災組織育成支援事業をはじめ、土砂災害対策事業や防災行政デジタル無線の子局整備などに取り組むことにより、近年、頻発する自然災害に対する市民の防災意識が高揚し、救命講習の受講者も増加した。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	防災の拠点施設である消防庁舎の耐震化を進めるとともに、防災行政デジタル無線屋外拡声子局整備や防災基盤整備事業により、有事における防災機能の確保に努めた。
	住民の自治意識を高める成果	自主防災組織育成支援事業により、災害発生時に地域の情報を周知している地元防災組織の育成に努め、地域住民による防災意識の高揚、機能強化に努めた。
	リーディング・モデル成果	消防団の活性化、自主防災組織の支援など、防災に対する市民の活躍の場を設けることにより、地域の安全安心は地域で守るという防災意識の高揚につながった。
	行財政改革に資する成果	消防車両の更新時には、すべてを普通車にするのではなく、地域性等も考慮し、軽自動車の車両も導入している。
	その他の成果	地球温暖化による平均気温の上昇など、生活スタイルの変化がもたらす自然への影響は大きいものがあり、太陽光発電システムの導入やリサイクルの推進など、環境負荷の軽減に努めた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	住み続けたくなるまちづくり		実施期間	平成27年度	テーマ	(2) 地域産業の育成 (4) その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>人口の減少、少子高齢化等による社会状況の中、地域社会を維持していくための政策課題は多様で拡大傾向にある。本市では、総合的な定住促進対策を講じて、市外からの移住を促すとともに、子どもから高齢者までの誰もが「住み続けたくなる」住みやすいまち、一度市外へ出た人が「帰りたくなる」ような魅力あるまちを目指す。</p> <p>このため、限られた行政資源の下、市民等と協働し、まちづくりや行政サービスのあり方・進め方について創意工夫し、市民自らがつくるという意識を大切にしながら、市民本位の施策を地域の実情に応じて展開していく必要がある。</p> <p>市民と行政との協働により、本市の特色を生かした住まい・住環境づくりを進め、市民が誇りと愛着を持ち、誰もが生き生きと暮らせるまちを目指す。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>人口の減少、少子高齢化の中で、本市に住んでいる人に住み続けてもらい人口の流出を抑えるために、また、一旦、市外に出た人に帰ってもらうために、子育て支援や住環境の整備など総合的な定住促進対策を実施した。さらに、企業の振興、雇用の確保による経済の活性化、就業人口の定着につなげるため、中小企業等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設の改修・充実による市民満足度の向上 地域緑化推進事業、工業団地修景管理費、総合運動公園整備事業等 ■定住促進のための産業振興により雇用の確保 農業、商業、工業等の基幹産業の振興等による雇用の確保 ■企業等の支援による産業振興 工場設置奨励金交付事業、中小企業経営支援事業等による企業支援による雇用の確保 ■暮らしやすさを高めるため、綾部の旬な情報をエフエム放送を通じて市内一円に配信 コミュニティ放送局放送委託等事業費 							
	総事業費（千円）	174,946	本年度事業費（千円）	174,946	交付金額（千円）	39,520		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	第5次総合計画後期基本計画策定事業費	交付対象事業	第5次綾部市総合計画後期基本計画を平成26年度から2か年で策定			後期基本計画書及び概要版を作成		
	工業団地修景管理費	交付対象事業	綾部工業団地の良好な景観等の保全のため公共緑地等の修景管理			自然豊かな景観等の保全		
	総合運動公園整備事業費	交付対象事業	生涯市民一人1スポーツの推進を図るため、老朽化した運動設備の整備			第1体育館アリーナ床工事、あやべ球場改修工事（防護マット、スコアボード、内野芝）		
	生活困窮者自立支援事業費	関連事業	生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援			自立支援相談等を実施するとともに、住居及び就労機会を確保		
	子育て支援医療費支給事業費	関連事業	乳幼児から中学生までの通院、入院に係る医療費を助成			給付件数:26,008件		
	工場設置奨励金交付事業費	交付対象事業	市内で生産設備を新設した企業に対し、3年間奨励金を交付			対象企業数:24社		
	中小企業経営支援事業費	交付対象事業	厳しい経済状況の中、中小企業が生産設備増強などに支援			生産設備費補助:3社、創業サポート奨励金:4件		
	コミュニティ放送局放送委託等事業費	交付対象事業	エフエムあやべを活用した情報発信			行政情報、防災情報等の伝達手段を確保		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

住民協働事業	コミュニティ助成事業費	交付対象事業	地域のコミュニティ施設改修等に対する補助	補助件数:10件	
	地域緑化推進事業補助金	交付対象事業	地域緑化推進のため、綾部市シルバー人材センターに対する補助	あやべ由良川花壇展:6,400人、コスモス祭:1,150人	
	あやべの米づくり支援事業費	交付対象事業	特別栽培米のブランド化の振興	米の特別栽培に取り組んだ農業者に補助:9件	
	ものづくり振興事業費	交付対象事業	ものづくり企業の技術向上や大学生の企業見学、インターンシップの実施等、市内外のものづくりにかかわる人材の育成	京都工芸繊維大学と連携し、意見交換会や小学生対象の授業などを実施	
	市議会設立65周年記念事業費	関連事業	小学生が本市や地域の将来のまちづくりに対する意見を発表	「綾部っ子、未来を語る議会」を開催	
	障害福祉サービス事業所等施設整備事業費	関連事業	一般企業に就労が困難な障害者の働く場を整備する社会福祉団体を支援	地域交流型障害者通所事業所:1施設	
成果指標①	成果指標の目標数値	工場設置奨励金交付対象企業数 H26:19社 → H27:24社		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	24社
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	奨励金の交付対象となる設備投資を行った企業が増加したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	ものづくり振興事業により企業の技術向上や大学との連携等を通じて人材育成を行ったほか、中小企業支援など産業振興を行った。また企業支援のひとつとして実施している、設備投資に対する奨励金制度を多くの企業に活用していただけた。				
※未達成の場合も効果を記載すること					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	生活困窮者自立支援事業や障害者福祉サービス事業所等施設整備事業により、生活困窮者や障害者が自立して生活できる基盤づくりに努めた。			
	住民の自治意識を高める成果	地域緑化推進事業費補助金では、市民が手掛けた花壇の展示など緑化事業を行い、自らの手で環境を守り育てる意識の高揚につながっている。			
	リーディング・モデル成果	ものづくり振興事業では、京都工芸繊維大学と連携し小学生対象の授業やインターンシップを行うなど、ものづくり人材の育成に取り組んだ。			
	行財政改革に資する成果	第5次総合計画後期基本計画を策定し、平成32年度までの5年間のまちづくりの方針を定めた。			
	その他の成果	工場設置奨励金の交付や中小企業支援に取り組む一方、ものづくり人材の育成に取り組み、企業や人口の流入促進を図った。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	市民が輝くまちづくり	実施期間	平成27年度	テーマ	（1）少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>3人に1人が65歳以上という極端な少子・高齢社会を迎える中、年齢、性別を問わず、すべての市民が個性と能力をのびのびと発揮し、地域社会の一員として、様々な場面で活躍していくことができる環境づくりを推進する必要がある。</p> <p>特に子どもや青少年の育成は極めて重要であり、家庭、地域、学校、行政等が連携して教育や支援を行うとともに、広く地域で活躍する人材の育成・確保が急務である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>地域社会を担う人材の育成は、地域活性化による交流・定住の促進や地域防災力の向上にも寄与する重要なプロジェクトと位置付けている。地域コミュニティの衰退を食い止める地域力向上の主役は地域住民であり、地域社会の担い手となる人材の育成を目的に事業を行った。また、次代を担う子どもや青少年の育成においては、社会的に幅広く活躍できるよう、小中一貫教育の推進や英語教育の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域活性化の活力となる活動支援 自治会活動推進、ボランティア活動推進事業、集落支援員配置事業等 ■国際社会で通用する人材の育成 外国人英語教師の雇用、イングリッシュキャンプ事業、チャレンジEIKEN事業、IT推進事業等 ■様々な問題を抱える児童生徒の健全育成 特別支援教育支援員配置事業、地域未来塾事業等 						
	総事業費（千円）	134,582	本年度事業費（千円）	134,582	交付金額（千円）	21,870	

プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	集落支援員設置事業費	交付対象事業	地域活動に対する人的支援を目的とした集落支援員を設置	集落支援員:2人
	小学校大規模改修事業費	交付対象事業	小学校施設の施設改善	東八田小学校屋上防水改修工事
	児童プール改修事業費	交付対象事業	地域の児童プールの適正管理による親水体験の場を確保	味方児童プールろ過循環配管改修工事
	英語指導助手業務委託事業費	交付対象事業	中学校における英語教育の推進、特に英会話能力の向上。また、小学校、幼稚園の英語への関心を醸成	英語指導助手:3人
	イングリッシュキャンプ事業費	交付対象事業	英語教育の推進のため、小学生を対象とした外国人の英語指導助手による英会話による日常生活体験	参加者:81人
	チャレンジEIKEN事業費	交付対象事業	中学校英語教育の推進を図るため、中学2、3年生を対象に英検を受験	受験者数:724人
	特別支援教育支援員配置事業費	交付対象事業	障害のある児童・生徒に対する学校生活上の介助や支援	特別支援教育支援員:8人、介助員:4人
	IT推進事業費	交付対象事業	パソコン教育の推進のため、機器の更新	パソコン151台
	放課後学級開設準備事業費	関連事業	昼間保護者のいない家庭の児童を健全育成	放課後学級数:13学級
	上林小学校・中学校改築事業費	関連事業	本市初の施設一体型の小中一貫校を整備	屋外施設等整備工事、上林小学校校舎解体、外構整備工事、フェンス設置工事
東綾中学校改築事業費	関連事業	施設一体型の小中一貫校を整備	校舎改築工事	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

住民協働事業	自治会活動推進費	交付対象事業	自治会組織の各種行政協力に対する報償金及び自治会連合会の運営に対する補助	自治会の行政協力報償金及び自治会連合会の運営補助金
	ボランティア活動推進事業費	交付対象事業	社会福祉協議会と連携し、市民参加のボランティア活動の推進と活動推進事業に対する補助	あやべボランティア総合センター登録団体：116団体
	「ふるさとあやべ再発見」教育推進事業費	交付対象事業	ふるさとあやべを見つめ直す教育を実施	小・中学校で実施（全16校）
	地域未来塾事業費	関連事業	学習が遅れがちな中学生を対象に学習支援を実施	参加者：延べ約550人
成果指標①	成果指標の目標数値	イングリッシュキャンプ参加者 H27（目標）：70人		成果指標の実績値 81人
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標値を超える児童が参加し、英語によるコミュニケーションを通じ、英語に対する自信と興味・関心が高められたため。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	中学卒業時の英検3級合格率 H26：22.79% → H30：50%		成果指標の実績値 (28年3月31日時点) 44.70%
	成果指標の達成状況	—	（左の理由）	目標年度をH30年度としているため、現時点では評価できないが、目標達成に向け着実に成果を挙げているため。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	英語指導助手の増員や放課後学級・地域未来塾の開催等により、社会的に幅広く活躍できる青少年の育成に努めた。また、ボランティア団体や自治会活動を支援し、地域社会の担い手育成に取り組んだ。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。			
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	豊かな人材育成を行うため、上林小・中学校や東綾小・中学校の小中一貫校の整備を進め、児童・生徒の教育環境の整備に努めた。		
	府と市町村等との連携に資する成果	地域未来塾事業では、京都府と市が連携し、学習が遅れがちな中学生を対象に学習支援に取り組み、子どもの健全な育成につなげることができた。		
	住民の自治意識を高める成果	自治会活動の推進、ボランティア活動の推進等、地域活力の維持・増進につながった。		
	リーディング・モデル成果	集落支援員を配置し、水源の里地域等の地域活動支援を行い、地域活力の増進に努めた。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

	行財政改革に資する成果	耐震化が困難な学校については、個別に改築するのではなく、小中一貫校として整備を進め、将来にわたる財政負担の軽減に努めた。
--	-------------	--

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	もうひとつの京都推進プロジェクト（綾部市）	実施期間	平成27年度	テーマ	その他（3つの京都）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。</p> <p>【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。</p> <p>【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>産業・観光を振興することを目的に、豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進めた。</p>						
	総事業費（千円）	31,535	本年度事業費（千円）	31,535	交付金額（千円）	16,909	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	里山交流研修センター改修事業	交付対象事業	都市住民との交流を深めるための周辺雑木林の伐採、宿直室整備、床等の改修	実施設計、宿泊棟・幸喜山荘改修、周辺樹木伐採			
	あやべ温泉等施設改修事業	交付対象事業	利用者の利便性を高めるためのあやべ温泉のエアコン改修、あやべ山の家の食堂内部改修、照明改修、給水ポンプ庫等の改修	客室空調設備更新:3台、取水ポンプ更新:1台、渡り廊下ガラス改修一式、温泉等電気設備改修工事一式			
	あやべ山の家改修事業（給水ポンプ庫改築）	交付対象事業	利用者の利便性を高めるためのあやべ温泉の給水ポンプ庫等の改修	加圧給水ポンプ更新:1台			
住民 協働 事業	あやべ水無月まつり市補助金	交付対象事業	市内外から多数の来場がある綾部の夏の一大イベントである、あやべ水無月まつり実施に対する補助金	来場者数:約32,000人			
	交流体験用機材整備事業	交付対象事業	里山交流研修センターで実施する交流事業の利便性、効率性を一層高めるため、体験用資材の購入及びあやべ温泉利用者の利便性向上のための冷蔵庫購入	里山交流研修センター交流用備品一式、あやべ温泉冷蔵庫1台			
	綾部里山交流大学事業	関連事業	本市への定住希望者及び定住者の課題解決や地域住民との交流のための講座を開催するとともに、首都圏において綾部のPR講座を開催	受講者数:1,257人			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	観光入込客数の増加 H26年度:608,766人 → H32年度:615,000人		成果指標の実績値 (27年12月31日時点)		659,957人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	「海の京都博」開催など海の京都の取り組みにより、本市の魅力を知っていただく機会が増え、目標を超える多数の観光客に本市に来てもらうことができたため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：綾部市

成果指標②	成果指標の目標数値	里山ねっと・あやべの交流人口 H26年度:3,881人 → H32年度:5,100人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	3,187人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値の年度に達しておらず、現時点で評価することができないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>都市住民との交流を深め、利用者の利便性を高めるため、都市農村交流施設や宿泊施設を改修した。また、地域住民との交流を目的とした講座を開催する等、本市のピーアールに努め、多数の観光客や交流人口の獲得につながった。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	綾部里山交流大学事業では、定住希望者や定住者の課題解決や都市住民との交流のための講座を行い、交流人口の拡大に努めた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	海の京都及び森の京都事業では、府・関連市町との連携により事業を推進することで、地域の振興が図られ、観光交流人口の増加等、本市への波及効果があった。			
	リーディング・モデル成果	海の京都事業を実施し、府と北部7市町が連携して、ブランド観光地域を目指し広域観光プロモーションを展開するとともに、地域主導のワークショップを開催し、観光戦略拠点の形成やコンセプトツアーに取り組んだ。			
	広域的波及成果	綾部里山交流大学を都市圏で開催し本市のピーアールに努め、交流人口の拡大につながった。			
	その他の成果	水無月まつりについては、市内関係団体で実行委員会を結成。本市の夏の一大イベントとして盛大に開催し、観光入込客数の拡大につながった。			

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。